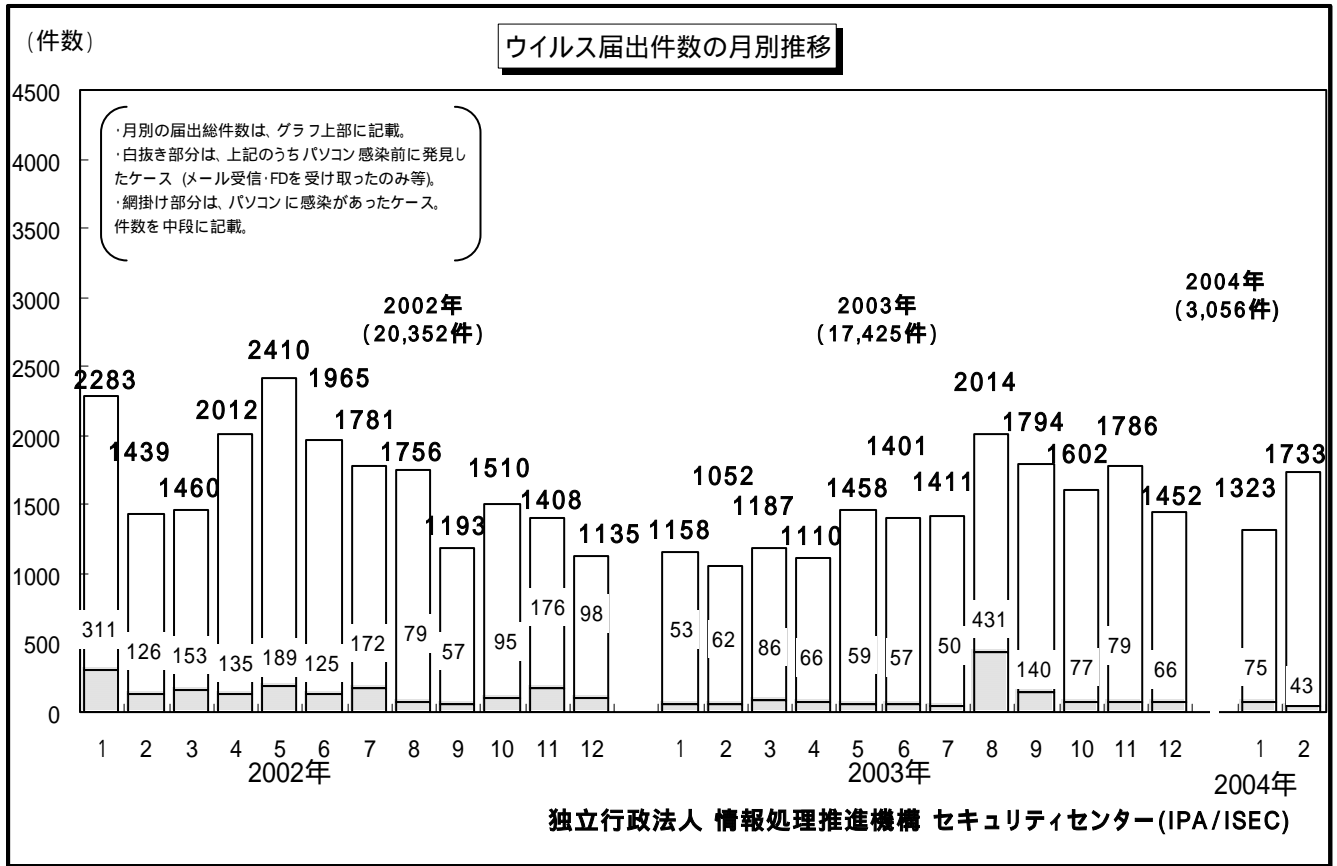


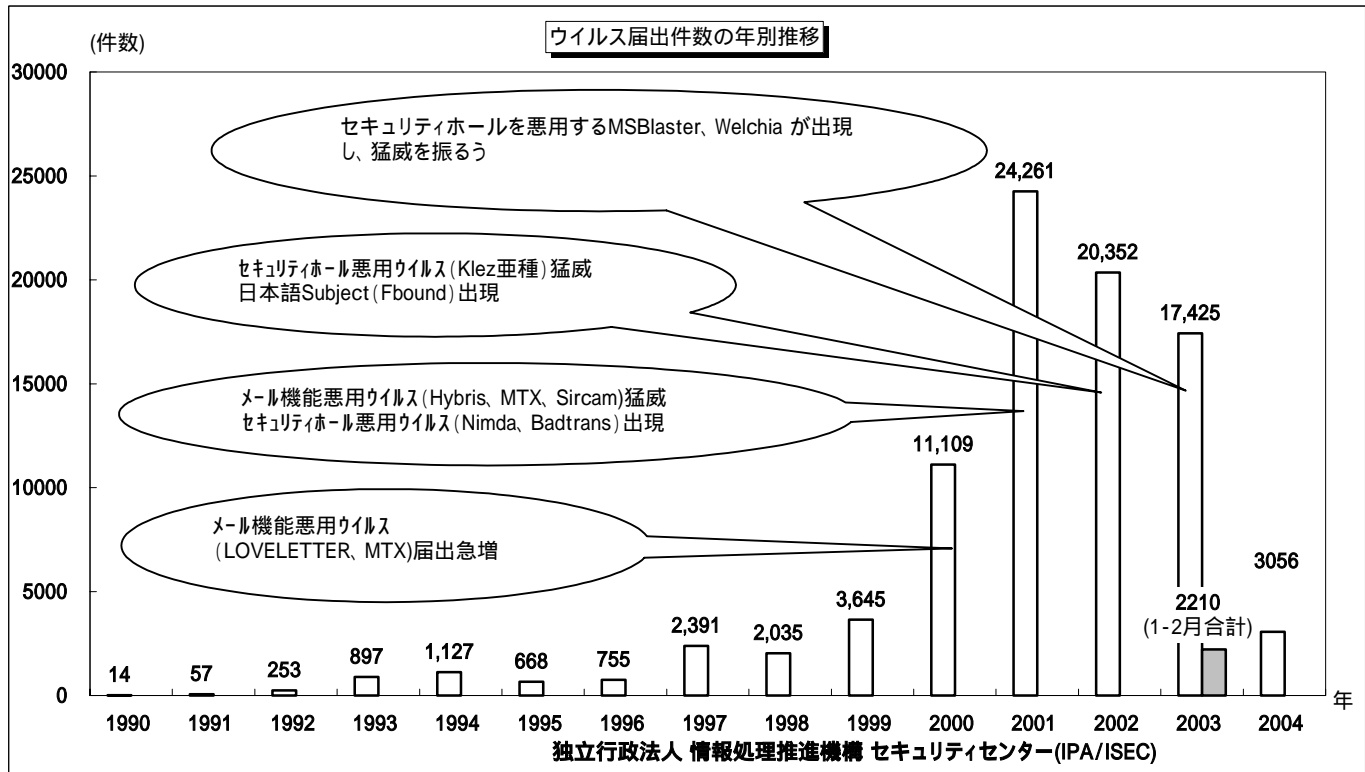
# コンピュータウイルスの届出状況について [ 詳細 ]

## ・ ウイルス届出の詳細

### (1) ウイルス届出件数の月別推移



### (2) ウイルス届出件数の年別推移



(3) 2月の届出ウイルス

ウイルスの種類は 48 種類で、Windows/DOS ウィルス 1,645 件、マクロウィルス及びスクリプトウィルス 87 件、Macintosh ウィルス 1 件でした。

( ) 印は、今月の新種ウィルスを示す。

Windows/DOS ウィルス	届出件数	マクロウィルス	届出件数
W32/Mydoom	6 3 7	XM/Laroux	1 3
W32/Klez	1 7 1	WM/Cap	2
W32/Mimail	1 6 3	W97M/Ethan	1
W32/Netsky ( )	1 5 0	W97M/Story	1
W32/Bugbear	1 1 7		
W32/Swen	1 1 3		
W32/Bagle	5 4		
W32/Fizzer	4 6		
W32/Dumaru	2 5		
W32/Sober	2 3		
W32/Welchia	1 9		
W32/Badtrans	1 6		
W32/MSBlaster	1 6		
W32/Inor	1 2		
W32/Sobig	1 2		
W32/Hybris	1 0		
W32/Gibe	8		
W32/Yaha	8		
W32/Antinny	6		
W32/Funlove	5		
W32/Mumu	4		
W32/Spaces	4		
W32/Magistr	3		
W32/MTX	3		
W32/Valla	3		
W32/Frethem	2		
W32/Nimda	2		
W32/Opaserv	2		
W32/Parite ( )	2		
Form	1		
WYX	1		
W32/Bereb ( )	1		
W32/Dupator	1		
W32/Ganda	1		
W32/Gaobot	1		
W32/Jeefo	1		
W32/Lovgate	1		
W32/QAZ	1		
		スクリプトウィルス	届出件数
		VBS/Redlof	5 2
		Wscript/Fortnight	1 4
		VBS/LOVELETTER	2
		VBS/Haptime	1
		VBS/Netlog	1
		Macintosh ウィルス	届出件数
		AutoStart9805	1

備考：件数には亜種の届出を含む

注) ウィルス名欄での各記号はそれぞれ下記の内容を示す。

記号	対象ウィルス
W32	Windows32 ビット環境下で動作
XM	MSEXCEL95、97 (ExcelMacro の略)
WM	MSWORD95 (WordMacro の略)
W97M	MSWORD97 (Word97Macro の略)
VBS	VisualBasicScript で記述
Wscript	WindowsScriptingHost 環境下で動作 (VBS を除く)

#### (4) 2月にI P Aに初めて届出のあったウイルスの概要

##### ・W32/Netsky

このウイルスは、自身の複製をメールの添付ファイルとして拡散する活動を行います。

感染すると、自分自身を Windows ディレクトリに services.exe としてコピーします。さらに、レジストリファイルを変更することによって、Windows の起動時に必ずウイルスが実行されるように設定します。

また、メールの添付ファイルを開いたとき、偽のエラーメッセージを表示し、感染したことに気付かせないようにしています。

さらに、「share」、「sharing」という単語を含むフォルダ名を検索し、発見したフォルダに自分自身をコピーします。

##### ・W32/Parite

このウイルスはファイル感染型のウイルスで、実行されると「EXPLORER.EXE」に感染してメモリに常駐します。そして、パソコン内をすべて検索し、拡張子が .EXE, .SCR のファイルに対して感染します。感染を拡大するだけで、発病はありません。

##### ・W32/Bereb

このウイルスは、WinMX（ファイル共有プログラム）を利用して感染を拡大するウイルスです。ウイルスが実行されると、自分自身を Windows フォルダに taskmgr.com としてコピーします。そして、レジストリファイルを改変することで、パソコン起動時にウイルスが動作するようにします。

また、Windows フォルダに sysdll フォルダを作成し、そのフォルダ内に自身のコピーを大量に作成し、ウイルスファイルが WinMX で共有されるように設定を変更します。なお、発病はありません。

#### (5) 届出者別件数

一番多い届出は、一般法人ユーザからのもので、約 92%を占めています。

届 出 者	届 出 件 数					
	2004 年 2 月		2004 年 1 月		2003 年 2 月	
一般法人ユーザ	1,595	92.0%	1,103	83.4%	867	82.4%
個人ユーザ	124	7.2%	101	7.6%	67	6.4%
教育・研究機関	14	0.8%	119	9.0%	118	11.2%

#### (6) 地域別件数

関東地方が最も多く、続いて中部地方、近畿地方の順となっています。

地 域	届 出 件 数					
	2004 年 2 月		2004 年 1 月		2003 年 2 月	
北海道地方	0	0%	3	0.2%	0	0%
東北地方	45	2.6%	50	3.8%	28	2.7%
関東地方	1,165	67.2%	732	55.3%	711	67.6%
中部地方	268	15.5%	239	18.1%	85	8.1%
近畿地方	204	11.8%	277	20.9%	203	19.3%
中国地方	23	1.3%	11	0.8%	16	1.5%
四国地方	7	0.4%	2	0.2%	6	0.6%
九州地方	21	1.2%	9	0.7%	3	0.3%

## (7) 感染経路別件数

海外からのメールも含めたメールにより感染したケースが最も多く、届出件数の約96%を占めています。

感 染 経 路	届 出 件 数					
	2004年2月		2004年1月		2003年2月	
メール	1,654	95.4%	1,247	94.2%	1,009	95.9%
外部からの媒体	19	1.1%	6	0.5%	15	1.4%
ダウンロード( )	17	1.0%	1	0.1%	10	1.0%
ネットワーク	34	2.0%	58	4.4%	0	0%
不明・その他	9	0.5%	11	0.8%	18	1.7%

( )ホームページからの感染を含む

## (8) 感染台数

感 染 台 数	届 出 件 数					
	2004年2月		2004年1月		2003年2月	
0台	1,690	97.5%	1,248	94.3%	990	94.1%
1台	35	2.0%	50	3.8%	57	5.4%
2台以上 5台未満	4	0.2%	16	1.2%	3	0.3%
5台以上 10台未満	1	0.1%	3	0.2%	1	0.1%
10台以上 20台未満	1	0.1%	1	0.1%	0	0%
20台以上 50台未満	1	0.1%	4	0.3%	1	0.1%
50台以上	1	0.1%	1	0.1%	0	0%

### ・コンピュータウイルスに関する届出制度について

コンピュータウイルスに関する届出制度は、経済産業省のコンピュータウイルス対策基準に基づき、平成2年4月にスタートした制度であって、コンピュータウイルスを発見したものは被害の拡大と再発を防ぐために必要な情報をIPAに届け出ることとされています。

IPAでは、個別に届出者への対応を行っていますが、同時に受理した届出等を基に、コンピュータウイルス対策を検討しています。また受理した届出は、届出者のプライバシーを侵害することがないように配慮した上で、被害等の状況を分析し、検討結果を定期的に公表しています。

#### コンピュータウイルス対策基準

- ・ 通商産業省告示第139号 平成2年4月10日制定
- ・ 通商産業省告示第429号 平成7年7月7日改訂
- ・ 通商産業省告示第535号 平成9年9月24日改訂
- ・ 通商産業省告示第952号 平成12年12月28日改訂
- ・ 経済産業省告示第2号 平成16年1月5日改訂

### お問い合わせ先

独立行政法人 情報処理推進機構 セキュリティセンター

Tel:03-5978-7508 Fax:03-5978-7518 E-mail:isec-info@ipa.go.jp